



苫小牧市立苫小牧東小学校
学校だより

令和5年7月25日
7月号

太陽の子



東小の教育目標

東小の子は太陽の子

・進んで学ぶ

かがやく子

・思いやりのある

あたたかい子

・心身ともに健康な

明るい子

自己肯定感と自立心を育む親子の関わり No.2

苫小牧市立苫小牧東小学校 校長 柴田 知巳

前号に引き続き子供たちの自己肯定感についてです。自己肯定感を育てる一番簡単で、一番有効な言葉は「ありがとう」です。お礼の気持ちを伝えると同時に、相手の存在価値を高めることができます。つまり、子供にとって人の役に立てた、家族の一員として存在する意味があると実感できる言葉なのです。ですから、「ありがとう」を言う機会が増えるお手伝いは、自己肯定感を育む大きなきっかけになります。

ただし、お手伝いを頼んでしなくても責めないこと。「してくれたらラッキー」くらいの気持ちで。最初は「いっしょにしよう」と親子でするのも良いでしょう。ほとんど親がして、少しだけ子供が手伝ったとしても、子供には「ありがとう、助かったよ」「うれしいな」など感謝の気持ちを伝えます。子供は喜んでもらったことでうれしくなり、またしようと思うようになるでしょう。

自己肯定感を育てるために、特別なことをしなくてもよいと、私は思います。お手伝いを含め、毎日の生活の中で子供との関わりを大切にすることが、自己肯定感を育てる上でとても大事なことです。つい子供のできないことに目がいきがちですが、最初から上手にできなくても当然です。できないことを気にしなくなると、できていることが見えてきて、ほめることができます。子供は確実に少しづつ成長しています。日々の親子の関わりを通して、子供の成長に寄り添い、自己肯定感と自立心を上手に育んでいきたいですね。夏休みは、いつにもまして親子の時間を持つての期間です。お手伝い等をきっかけにほめるところから始めてみませんか。

SNS を介した犯罪被害の防止

Twitter、Facebook、LINE、Instagram・・・・。今、SNS の話題を耳にしない日はありません。SNS とはソーシャル・ネットワーキング・サービスの略、インターネットを介して人間関係を構築できるスマホやパソコン用 Web サービスの総称です。自らの表現の場であったり、交友関係を広げていく場であったりと、多くのメリットをもっていますが、デメリットが存在することも事実です。SNS がもつ文章の公開、コメント付与、写真や動画の公開、グループ化、友人紹介などの機能が、誹謗中傷やいじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったりしています。SNS に起因する 18 歳未満の事犯も増加し続けているとのことです。また、児童のスマホ等の所持率も高まっており、問題が発生しているのも事実です。

では、SNS を介した犯罪被害を防止するにはどうしたらよいのでしょうか。当然、SNS を管理する事業者側の対応もありますが、まず、子供に直接関わる私たちが「賢く安全に使うための知識・知恵」や「ルールを守って使える心」を子供に育むことが大切です。そのためには、次の 4 つの取り組みを、私たち大人は心がけたいものです。①SNS を知ろう。自ら操作したり、基礎知識を得たりしよう。②SNS の正しい利用を、自らの態度で示そう。③子供とじっくり話し合いながら、活用させよう。④SNS の具体的なトラブルから学ぼう。

ネットトラブルの実態から、学校、家庭、地域で、子供と一緒に解決策を考えましょう。

夏休みの過ごし方

明日から、夏休みが始まります。各学級の通信でも望ましい過ごし方が示されているところです。ご家庭でも、お子様にとって、どのような1学期だったかをお話してみてください。

また、生徒指導だより「きずな」や「夏休みのきまり」もお子様と一緒に、内容をご確認ください。子供達が安心・安全な休みを過ごせるように、必要なことを掲載しています。今学期は、自転車の事故があったり、地域の方々から、特に低学年を中心に自転車の乗り方や、歩行中のマナーについてもっと指導が必要だ、とのご指摘をいただくことが昨年より増えています。また、高学年では、SNSにおける人間関係でのトラブル、外でのゴミのポイ捨てなどがありました。夏休みは気持ちが開放的になりがちで、ご家庭で過ごす時間が多くなることから、子供達の生活に关心をもっていただきますようお願いいたします。

とはいえる、せっかくの夏休みです。ご家庭の時間の大切にして、よい思い出をたくさんつくっていただければと思います。

↓1年生は講師をお招きして鍵盤ハーモニカ講習会です。講師の先生から褒められました。



2年生は収穫したズッキーニを食べました。かぼちゃの味がするそうです。
←



↑6年生は家庭科で洗濯の学習をしました。自分で持ち物の手洗いに挑戦です。



7月のできごと

なかよし集会を通して学んでほしい

なかよし集会を実施しました。前半は、いじめ問題子どもサミットに参加した6年生の佐々木海音くんと櫻井凜愛さんの報告です。サミットが終わった後に二人はそれぞれ「多くの学校でいじめが起きている。絶対にやらないようにしなければいけない。」「いじめた方は軽い気持ちかもしれないけど、いじめられた方は一生心に残ることだと思う。」と参加後に思ったことを話してくれました。

中盤は、いじめの加害者が些細なきっかけで被害者にもなりうることを題材にした運営委員会の劇でした。劇の合間に「いじめは許されると思うか」という質問が投げかけられ、児童は、いじめ防止に向けた意識を高めました。

後半では、学級で選ばれた、いじめ防止の標語を披露しました。これらは、その後、校内に掲示する予定です。

集団生活では、いざこざはどうしても起こります。しかし、いじめは、いざこざを解決するための手段ではないこと、絶対に許されない行為であることを強く認識してほしいものです。



- ・夏休み中の土・日・祝日・学校閉庁日は、学校の電話がつながりません。
- ・事件や事故など緊急の連絡は、市教育委員会(32-6739)まで
- ・平日は、8:00~16:30に連絡をお願いいたします。



交通安全指導を行います

本校の校外委員と交通安全担当の保護者の皆様が、登校時の安全指導を行います。2学期の始業式から3日間です。また、地域のボランティアの皆様方に1学期終業式から定期的な活動をお願いさせていただきました。

「二段階横断歩道があるから安心して飛び出す子が多い」という話もありました。ここに限らず、それぞれの場所で危険な動作が見られるようです。

朝の早い時間帯になりますが、よろしくお願ひいたします。



日	曜日	行事など
10	木	学校閉庁日
11	金	山の日
14	月	学校閉庁日
15	火	学校閉庁日
16	水	学校閉庁日
22	火	始業式 職員会議
23	水	漢字検定
24	木	クラブ③(クラブ写真撮影) 夏休み作品展(～9月4日)
25	金	遠足(1～4年) フィールドワーク(5・6年)
29	火	食に関する指導(5年)3h (4年)海事教育5h・6h